

⑦—5 知的財産権及び国際標準への戦略的対応

【視点4】(1)

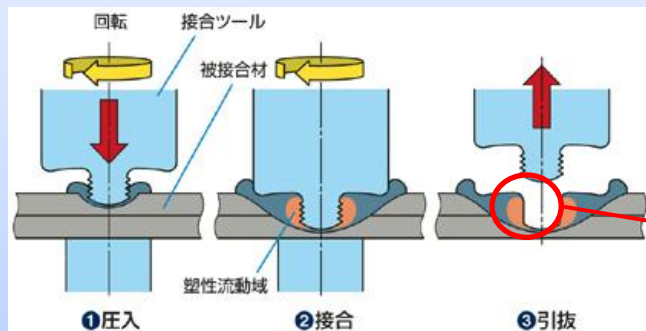
(知的財産権)

推進体制を構成する企業等が相互に連携しつつ、研究開発及び事業化を効果的に推進するために、プロジェクトに参加する企業、機関等に一元的な運営管理、知的財産管理及び秘密保持に関する規程等を制定させるとともに、共同研究または再委託研究に際しては、適切な知財の管理が担保できる契約を締結させる。

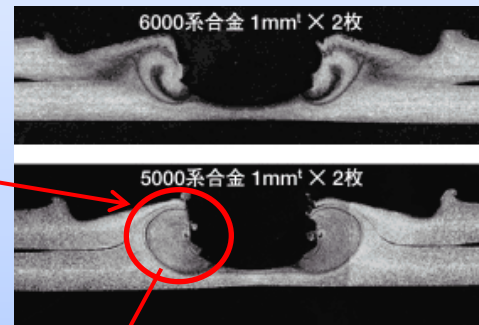
(国際標準)

革新的構造材料の評価技術、新規異種材料接合において接合部の強度評価技術等物性評価方法の開発を進め、新規材料、接合技術の国際標準化を進める。

(事例) 異種材料接合技術開発



(参画企業Aの基本特許をベースに周辺技術を構築、他の参画機関には当該技術利用を優先)



異種材料接合部の物性*評価技術
＝接合技術標準化へ

*強度、延性、靱性、制震性、耐食性、耐衝撃性等